

1 基本項目	事務事業名	蜃気楼ネットワーク事業				担当部署	課名	埋没林博物館
	予算事業名	蜃気楼ネットワーク事業					係名	管理係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049
	事業期間	開始年度	平成15年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	教育費
		政策名	政策10. 明日を担うづくり				項	社会教育費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実			総合計画等への記載	総合計画に主な事業として記載	
		根拠法令				この事務事業が関連するその他の計画等	まち・ひと・しごと創生総合戦略	
		アウトソーシング導入状況	導入済(協働)			-		

2 事業概要	事業概要	市の観光資源の1つである「蜃気楼」に関する情報の集約、情報交流、発生メカニズムの解明、一般市民への知識の普及を目指す事業	
	対象	蜃気楼に何らかのつながりを持つ人、情報及び魚津市民	
	手段(活動指標)	蜃気楼交流会の開催、交流会記録誌の発行 日本蜃気楼協議会と連携した講演会の開催	
	意図(成果指標)	蜃気楼に関する人、情報等の交流を促進し、魚津市民には郷土の地域資源としての蜃気楼に関する理解を深める。	

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 研究発表件数	件	10	7	10	7	70.0%	10
	② 記録誌配付件数	件	100	100	100	100	100.0%	100
	③							
	① 研究発表会聴講者	人	50	35	50	36	72.0%	50
	② 講演会参加者	人	100	34	50	56	112.0%	50
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	159,000	144,240	159,000	138,240	-4.2%	42,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	20,000	10,000	85,000	64,800	548.0%	20,000
	支出合計	(A) 円	179,000	154,240	244,000	203,040	31.6%	62,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	179,000	154,240	244,000	203,040	31.6%	62,000
収入合計	円	179,000	154,240	244,000	203,040	31.6%	62,000	
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	540	540	540	540	0.0%	540
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	2,376,000	2,376,000	2,376,000	2,376,000	0.0%	2,376,000
総費用(A+B)	円	2,555,000	2,530,240	2,620,000	2,579,040	1.9%	2,438,000	

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○日本蜃気楼協議会と連携し第13回蜃気楼交流会(記念フォーラム、研究発表会)を開催した。</p> <p>○記念フォーラム、研究発表会の内容を記録した「第13回蜃気楼交流会記録誌」を発行・配布した。</p> <p>○まち・ひと・しごと創生総合戦略「蜃気楼発生状況PR事業」の対応として、日本気象協会から予報の提供を受けた。(平成29年度以降は商工観光課の蜃気楼予報委託事業に一歩化)</p>	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	蜃気楼の調査研究、情報発信を行っている市立の博物館として、民間と連携しながら主体的に取り組むべき事業である。	
目的の妥当性					1 妥当である	蜃気楼については市内外から関心が高く、蜃気楼を通じた人や情報の交流を促進する事業として目的は妥当と考えられる。		
対象の妥当性					1 妥当である	蜃気楼については市内外の関心が高く、対象の設定は妥当である。		
有効性	有効性	B	A	目標達成度	2 目標どおり	講演会参加者は目標値の112%、研究発表調査者数は72%であった。		
				類似事業の有無	1 なし	独自の事業であり類似事業はない。		
				上位施策への貢献度	1 高い	市民等の関心の高い蜃気楼に関する情報を発信することは、生涯学習の充実に貢献している。		
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	必要最低限のコストで実施している。		
				実施主体の適正化	1 適正である	博物館として主体的に実施すべきである。		
				負担割合の適正化	1 適正である	必要最低限のコストで実施しており、市の負担が大きいとは言えない。		
1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
今(課後)の課題及び評価結果	内外に大々的に発信するシンポジウムの開催等の実施を引き続き検討する。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館展示事業				担当部署	課名	埋没林博物館
	予算事業名	調査研究・展示事業				係名	管理係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				科目	教育費
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項目	社会教育費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画等への記載	総合計画に主な事業として記載
		根拠法令					この事務事業が関連するその他の計画等	—
		アウトソーシング導入状況	導入予定なし					—

2 事業概要	事業概要	調査研究の成果をもとに展示を発案・作成し、知識や情報を親しみやすい形で市民及び博物館利用者に提供する。
	対象	常設展示・企画展示内容及び展示物、魚津市民及び入館者
	手段 (活動指標)	企画展等を実施
	意図 (成果指標)	展示を企画・製作し、利用者の観覧に供する。

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 展示企画開催件数	件	3	3	3	3	100.0%	4
	② 企画展開催日数	日	300	331	272	302	111.0%	272
	③							
	① 企画展示期間入館者数	人	55,000	36,955	35,000	30,351	86.7%	35,000
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	180,000	161,403	588,000	501,143	210.5%	462,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計 (A)	円	180,000	161,403	588,000	501,143	210.5%	462,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	180,000	161,403	588,000	501,143	210.5%	462,000
	収入合計	円	180,000	161,403	588,000	501,143	210.5%	462,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	660	660	660	660	0.0%	660
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	2,904,000	2,904,000	2,904,000	2,904,000	0.0%	2,904,000
	総費用(A+B)	円	3,084,000	3,065,403	3,492,000	3,405,143	11.1%	3,366,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ○「蜃気楼写真展」(5/1~7/31)の企画、開催 ○「凸凹展」(8/1~11/30)の企画、製作、開催 ○「魚津ナチュラルギャラリー17」(1/2~4/30)の企画、製作、開催 ○立山黒部ジオパークエリア立体模型の自作、手で触れる岩石の実物展示等、教育効果を高めた 	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	市立博物館として主体的に実施すべき事業である		
目的の妥当性					1 妥当である	生涯学習・社会教育施設として目的は妥当である			
対象の妥当性					1 妥当である	自然史系博物館として自然科学分野の企画展示を実施し、市内外の利用者に生涯学習の場を提供している			
有効性	有効性	B	A	目標達成度	2 目標どおり	展示期間入館者数は設定値の87%である			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない			
				上位施策への貢献度	1 高い	自然史系博物館として自然科学分野の企画展示を実施し、市内外の利用者に生涯学習の場を提供している			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	必要最小限の予算で実施している			
				実施主体の適正化	1 適正である	博物館が独自に実施すべき種類の事業であり、また蜃気楼写真展等は外部団体とも連携して実施している			
				負担割合の適正化	1 適正である	公立博物館として自治体の費用負担は適正である。			
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	今(課後)の 評価結果及び 方針	リニューアルによって企画展示室が整備され、展示構成の自由度が向上した。博物館機能と観光資源としての魅力向上のため、更なる展示等の充実を図りたい。また、スタッフの育成や人材確保に引き続き努めたい。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	ジオパーク普及事業			担当部署	課名	埋没林博物館
	予算事業名	ジオパーク普及事業				係名	管理係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049
	事業期間	開始年度	平成27年度	終了年度	当面継続	予算科目	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 1. にぎわい・活力あるまち			会 款	教育費
		政策名	政策05. 交流と連携によるにぎわい創出			項 目	社会教育費
		施策名	施策10. 多様な交流の推進			目 的	埋没林博物館費
		基本事業名	基本事業10-1. 体験・滞在型交流の推進			総合計画等への記載	総合計画に主な事業として記載
		根拠法令				この事務事業が関連するその他の計画等	—
		アウトソーシング導入状況	導入済（協働）				—

2 事業概要	事業概要	世界ジオパークを目指す立山黒部ジオパークの拠点施設として、ジオパーク活動の周知や地域のジオ資源の再発見等の普及を図る
	対象	市民、博物館利用者
	手段 (活動指標)	普及講座の実施、マップの作成・発行、立山黒部ジオパークとの連携
	意 図 (成果指標)	普及講座参加者数、立山黒部ジオパークとの協力事業数

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 普及講座開催回数	回	5	5	4	4	100.0%	4	
	② マップ発行数	部	6,000	6,000	9,000	9,000	100.0%	9,000	
	③ 立山黒部ジオパーク 講師・会議等派遣回数	回	15	16	15	28	186.7%	15	
	成果指標	① 普及講座延べ参加者数	人	100	75	80	37	46.3%	80
		② 立山黒部ジオパークとの協力事業数	件	3	3	2	2	100.0%	2
		③							

4 コスト情報	区 分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円			626,000	541,230		521,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円			605,000	605,000		
	⑤ その他	円	1,400,000	1,315,315	269,000	193,380	-85.3%	260,000
	支出合計 (A)	円	1,400,000	1,315,315	1,500,000	1,339,610	1.8%	781,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円			32,000	16,900		4,000
	⑤ 一般財源	円			1,468,000	1,322,710		741,000
	収入合計	円			1,500,000	1,339,610		745,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人		3		3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間		1,500		1,500	0.0%	1,500
	③ 人件費 (②×@ 4,400 円) (B)	円		6,600,000		6,600,000	0.0%	6,600,000
	総 費用 (A+B)	円		7,915,315		7,939,610	0.3%	7,381,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	○ジオパーク普及講座の開催 ○魚津のジオめぐりマップの製作・発行 ○立山黒部ジオパークへの負担金の支出	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	魚津市は立山黒部ジオパークエリアを構成する市町村であり、また支援自治体の一であるため主体的に関与することが妥当である 魚津埋没林博物館は立山黒部ジオパークの拠点施設であり妥当である 立山黒部ジオパークの活動や理念を普及させるため妥当である		
目的の妥当性					1 妥当である				
対象の妥当性					1 妥当である				
有効性	有効性		B	目標達成度	3 低い・未実施	普及講座参加者数が設定定員の50%に達していない			
				類似事業の有無	1 なし	ジオパークの普及を目的とした事業は他にない			
				上位施策への貢献度	1 高い	ジオパークの普及に努めることで、多様な交流の推進に貢献する事業である			
効率性	効率性		A	コスト効率	1 高い	必要最低限の予算で実施している			
				実施主体の適正化	1 適正である	立山黒部ジオパークの拠点施設として主体的に取り組むべきである			
				負担割合の適正化	1 適正である	普及講座参加者から参加費を徴収している。参加費の額は事業の性質上高額にはできない。			
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	今(課後)の 評価結果及び 今後の方	世界ジオパークを目指す立山黒部ジオパークの拠点施設として、ジオパーク活動の周知や地域のジオ資源の再発見等の普及を図る。				評価結果			